



# 熊谷市 記者クラブ取材情報

平成28年8月31日発表  
担当課:社会教育課  
(江南文化財センター)

## 事業の名称等

愛染堂保存修理事業落成式(落慶式)の開催について

1. 日時 平成28年9月18日(日) 午前10時(式典開始) 一般公開は午後3時まで

2. 場所 宝乗院愛染堂(熊谷市下川上33)・下川上自治会館

## 3. 事業概要

平成28年9月18日(日) 午前10時から落慶法要・式典開始

午後3時まで一般公開(適宜解説を行う)

愛染堂は享保11年(1726)に建立。本尊の「愛染明王」は、大同元年(806)に造立され、愛染堂前の星川に流れついたとの言い伝えが語り継がれている。その後、江戸時代に入り仏師の手によって、現在の「愛染明王」が制作された。熊谷市下川上地区にて時代を越えて保存されてきた。江戸時代以降、「藍染」と「愛染」の関わりから、関東一円の多くの染物業者などが参拝し、染色業者をはじめ、花柳界・木遣り等の額、算額が奉納され、庶民信仰の文化遺産として今に伝えられてきた。平成に入り、愛染堂の毀損が進み、平成21年(2009)に市指定有形民俗文化財「愛染明王」及び「藍染絵馬」を堂外に移動した。平成27年(2016)に、愛染堂の修繕を目指し、所有者の実相院、檀家、地元住民、染色業者などによる「愛染堂保存修理委員会」(会長:木島一也)が設立された。

平成27年度に開始した「愛染堂保存修理事業」では、主たる工事費2,100万円(屋根廻り改修、毀損箇所への復元、内部の木材補修)及び付帯工事(追加となった高欄・軒下廻りの補修、台座修繕、畳張り替え工事など)の費用300万円、計2,400万円を要し、経費について、市補助金500万円、所有者等負担金約400万円、市内各所の配置した500円募金などによる約100万円、これらを除いた約1400万円は寄付などによって充当され、修理工事は完工となった。その間、クラウドファンディングによる寄付募集を実施したが目標額に届かず未達成となったが、全国的なPRとなり、その後の寄付募集への助力となった。

## 4. 特徴やPRポイント

会場には熊谷市長など来賓の出席のほか、愛染堂PR大使・土田彩花さんが参列し、宮崎憲田住職による落慶法要が執り行われる。保存修理事業に係る概要説明も併せて行う。式典後は午後3時まで一般公開し、堂内の見学が可能である。

落成に向けて、愛染明王については、8月27日に地元有志を中心に愛染堂へ移動した。修理前に掲げられていた絵馬や額などについても移動した。市指定有形民俗文化財「藍染絵馬」は熊谷図書館での保管を継続し、尾高惇忠筆の奉納額についても江南文化財センターでの保管を継続する。これらを紹介した画像のパネルを愛染堂に掲示する予定である。

## 5. その他

連絡先

天台宗実相院(宮崎憲田) 048-522-0237

保存修理委員会事務局 048-521-2412

事前の撮影や現場確認を希望される場合は江南文化財センターへご連絡ください。

※資料の有無(  有 ・  無 ) 竣工後写真

担当者 熊谷市教育委員会社会教育課文化財保護係主任(江南文化財センター) 山下祐樹

連絡先 電話 048-536-5062 画像等連絡用: c-bunkazai@city.kumagaya.lg.jp

愛染堂保存修理後の状況

竣工後の愛染堂（正面）



修理前の損傷が激しかった北西隅



保存修理後の北西隅の状況